

カラーピーマン新品種「Pプロ15-635」および新系統「Pプロ15-604」の特性

カラーピーマン黄色品種「Pプロ15-635」は規格外品が少なく、赤色系統「Pプロ15-604」は裂果が少ない

背景・目的

- 本県のカラーピーマン主要品種は、日焼け果および裂果の発生が多く商品性低下が課題
- ピーマン育種プロジェクト(公募事業)において規格外品の少ない品種・系統を育成

成果の内容



Pプロ15-635



L3シグナル



Pプロ15-604



L3シグナル

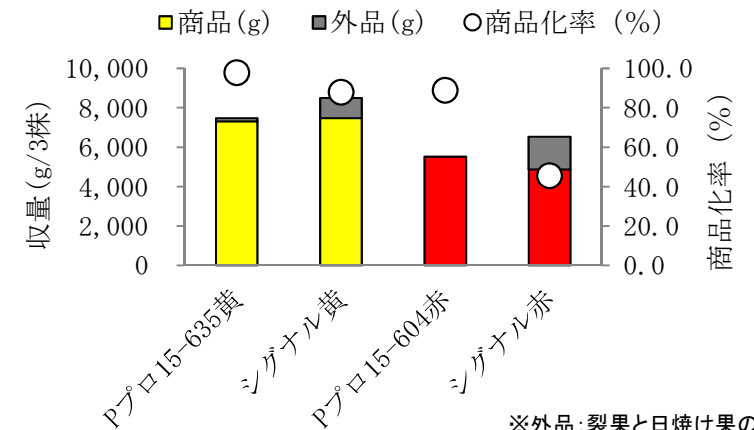
「Pプロ15-635」の特徴(「シグナル黄」と比較)

- ・果実重はやや重い
- ・裂果が少なく商品化率が高い

「Pプロ15-604」の特徴(「シグナル赤」と比較)

- ・果実重はやや重い
- ・裂果が少なく商品化率が高い

導入メリット



- ・裂果などの外品発生が少なく商品化率が高い
- ・単価上昇により収益性アップが期待できる

品種名・系統名	熟果色	平均果実重	着果性	草勢	果形	果肉	PMMoV
Pプロ15-635	黄	87	良	強	長ベル	中	L3
L3シグナル	黄	82	良	強	長ベル	中	L3
Pプロ15-604	赤	93	中	強	長ベル	やや厚	L4
L3シグナル	赤	81	良	強	長ベル	中	L3

注) PMMoV(トウガラシマイルドモットルウイルス)による土壌伝染性の病害, L3, L4は抵抗性遺伝子のタイプを示す

期待される効果

カラーピーマン農家の収益性向上

普及対象・範囲
カラーピーマン生産農家